

一般部門

一般部門 入選

私のおばあちゃん

もりした じゅな
【岡山県・森下樹奈】

私には大切な祖母がいます。4年前に定年退職しました。祖母は大学を出たときから、看護師をしていました。人と人のつながりを誰よりも大切にしている祖母は、毎日休まず、仕事に行っていたそうです。50代のころに、お腹を切る手術をしたそうです。私はまだ幼かったのですが、家族は叔父も母も、みんな自分のことよりも祖母の看護につきっきりだったのを今でも覚えています。

祖母は、通常の人よりも一週間も早く退院して仕事に復帰しました。定年までしっかり仕事をこなした祖母だったので、私は「これからの人生は自分の趣味や、やりたいことをして過ごしてね」と言いました。祖母は「わかったよ」と言ったのですが、次の日に朝早く出かけてしまいました。帰ってきた祖母に聞くと、「近所に介護が必要なばあちゃん居るき、行ってきたんじゃ」と、言いました。

そして、夜に家族が集まると、祖母は明るい声で「ひまじゃき、介護手伝うことにしたけん」と言いました。さすがに家族は焦って止めようとしたのですが、一向に聞き入れてくれませんでした。

私は無茶をしなければ良いと思っていましたが、どうしたことか、自分の手作りパンを近所や友人に配達していました。もう家族は注意どころか、むしろ見守ることにしました。私が祖母にさりげなく聞いてみると「まだ仕事をやりたい。できるときに、元気なときにみんなの笑顔を見ておきたい。人の喜ぶ声や顔を、しっかり焼きつけてお仏壇に感謝するんが、今は一番幸せやから」と笑顔で言ってくれました。

私はそんなポジティブな祖母を尊敬しています。そして、祖母に私がしてあげられることを手助けしてあげたいなと思います。祖母は人と助け合い、支え合うことの喜びを、仕事を通して学んだそうなので、私も学びたいです。